



石川県珠洲市宝立町の津波被災地域で道を切り開く技術系ボランティア
＝ 2月3日、加藤直人撮影



宝立町鵜飼地区で津波に流された車を引き揚げる技術系ボランティア
＝ 2月3日、加藤直人撮影

地震2カ月見えぬ先行き 2人のカメラマンが見た能登

能登半島地震は発生から2カ月近くが経とうとしている。ズタズタに寸断された道路はかなり復旧し、長引いた断水が解消した地域もある。しかし傷跡の深い奥能登では、まだ復興の入り口にさえ立てない地域が少なくない。被災が深刻だった珠洲市を回った加藤直人、夏目健司の両カメラマンによる写真とともに、その状況を伝えたい。

■「技術系ボランティア」の活躍

珠洲市宝立町の鵜飼地区。のどかな海沿いの住宅地が元日、猛烈な揺れと押し寄せる津波で

一変した。

瓦屋根の民家は1階から崩れ落ち、骨組みを残した家にも車がめり込んでいる。ひび割れだらけの道路の上には、家の中にあった家具や